



町民と共に歩む！

有田町議会だより



釧路町議会との友好交流協定締結式
12月18日(釧路町庁舎)

目次

- ◆ 議案審議のピックアップ
- ◆ 常任委員会報告
- ◆ 町の課題を徹底討論！
一般質問 12 人
- ◆ 産業建設常任委員会視察報告
- ◆ 釧路町議会友好交流協定締結
- ◆ 議員発議
- ◆ 視察受け入れ報告
- ◆ 任期を終えて

令和 7 年 12 月議会
No.75

P2～

P4～

P7～

P13

P14

P15

P16

P17

☆ 議案審議のピックアップ

◎(議案第64号)

有田町定住促進条例の一部改正について

◎(議案第73号)

竜門施設改修事業 竜門キャンプ場管理棟
新築工事請負契約の締結について

◎(議案第75号)

一般会計補正予算(第6号)について
農地農業用施設災害復旧事業2,760万円
さかの稼げる水田農業推進事業110万円

令和 8 年 1 月 3 0 日発行

令和7年12月議会 議案の審議結果 ピックアップ

令和7年第15回有田町議会定例会に提出された議案（第62号～82号）審議は、全て賛成全員により可決された。一部抜粋して報告する。

◎(議案第64号) 有田町定住促進条例の一部を改正する条例について

改正の理由

有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略等に基づき、継続的な定住促進と人口増加を図るため、定住者の住宅取得に対して交付する奨励金制度の一部見直しと期限の延長を行う。

改正の内容

1. 対象者の要件

奨励金の交付対象者となる者の要件のうち、「令和5年4月1日から令和8年3月31日までに新築住宅を取得した者」を「令和8年4月1日から令和11年3月31日までに新築住宅を取得した者」に改める。

2. 奨励金の額

対象者が町外からの転入者である場合と町内からの転居者である場合とで奨励金の額の差が大きいことから、定額部分を10万円増額して町外への転出を抑制しつつ、転入加算の減額を同額にとどめて転入者に対する交付額の合計額を維持することにより、継続的に定住人口の増加を図る。

<交付要件と交付額>

交 付 要 件		交 付 額	
		現 行	改正後
1 定額	新築住宅1戸につき	30万円	40万円
2 転入加算	町外に3年以上居住され、転入される方	50万円	40万円
3 子育て世帯加算	同居する中学生以下の子1人につき（3人まで）	10万円	10万円
4 町内業者施工加算	町内施工業者による建築の場合	30万円	30万円
5 新婚世帯加算	申請者が新築住宅に居住を開始した日前2年以内に婚姻している場合	10万円	10万円

<交付要件と交付額>

令 和 4 年 度			令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
町内転居	町外転入	年度計	町内転居	町外転入	年度計	町内転居	町外転入	年度計
21	20	41	18	17	35	22	15	37

◎(議案第73号) 令和7年度竜門施設改修事業竜門キャンプ場管理棟新築工事請負契約の締結について

竜門キャンプ場管理棟は老朽化が進み、安全性やサービス面が不全になっていたため、新築工事が行われる。

キャンプ場利用客の受付場所や黒髪山登山客等への情報提供ステーションとして整備される。

■契約金額 7,711万円



▲竜門キャンプ場管理棟完成予想図

◎(議案第75号) 令和7年度有田町一般会計補正予算(第6号)について 農地農業用施設災害復旧事業 2,760 万円 (県支出金 2,208 万円、分担金 276 万円、一般財源 276 万円)

令和7年7月から9月の豪雨により、被害を受けた9箇所の農地および農業用施設の災害復旧工事費を追加補正するもの。

被災状況は、傾斜地にある農地の石垣が崩れたものが多く、今年度は5月上旬の大雨以降、全体で農地17箇所、農業用水路3箇所の計20箇所が被災している。

補正後の予算額1億190万円で災害復旧工事に取り組む。



さかの稼げる水田農業推進事業 110 万円 (県支出金 85 万円、一般財源 25 万円)

米・麦・大豆作付農家・産地の経営強化と収益向上のため、革新技術導入や省力化機械・施設整備、安心・安全な売れる米づくりなどを県と市町が共同で支援する県の補助事業で、水田農業の担い手育成と産地強化を目指している。

今回、この事業を活用し、水稻の乾田直播用機械の導入を計画している農家を支援する。



12月定例議会委員会審議

産業建設

常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 手塚 英樹
副委員長 諸隈 洋介

▼有田町火入れに関する
条例の一部を改正する
条例

松尾委員 町民への周知
のための広報は。
農林副課長 1月号広報
にて周知を行う。

岩尾委員 工事の進捗状
況の知らせは行つのか。
農林副課長 予定はして
いないが完成予定図は
お知らせするよう検討
する。

▼令和7年度有田町一般
会計補正予算(第6号)

岩尾委員 さがの稼げる
水田農業推進事業補助
金について説明を。

農林副課長 乾田に直接
播種する方法で、苗を
作らない分、省力化が
図られ、農業の革新に

●火入れとは 第7日前までに市町の許可が必要
林業等を営む上で、草木等を目的に焼却すること。



●たき火とは 森林被害への留意が必要場合があります
屋外で、落ち葉、枝木などを焼却すること。
焼却後の小規模な焼却も含む。



空気が乾燥するなど林野火災が発生しやすい気象状況とな
り、林野火災注意報・林野火災警報が発令されたら
→注意報：屋外での火の取扱いには控えてください。
→警報：屋外での火の取扱いはできません。

▲山火事防止チラシ



▲大井手頭首工のラバーダム

なる取り組み。その機
械を導入する補助であ
る。

樋渡委員 農村地域防災
減災事業及び緊急自然
災害防止対策事業の説
明を。

建設課長 農村地域防災
減災事業は立部地区の
椎ノ木ため池の劣化状
況の把握と、防災工事
に取り組むための調査
業務。緊急自然災害対
策事業は、有田川の山

谷牧地区
内にある
大井手頭
首工のラ
バーダム
老朽化の
補修事業
である。

樋渡委員
農地農業
用施設災
害復旧事
業の説明
を。

建設課長
7月～9
月の豪雨
で被災した9箇所の復
旧費用を追加。場所は
すべて西地区で、傾斜
地にある農地の石垣が
崩れたといったものが
大半である。

【付託案件以外】

松尾委員 「有田で美味
しい商品券」の発売遅
延は業者の納入遅れが
原因と聞く。これに対
し指導は行ったのか。
商工観光課長 県の事業

で、発行元の有田料飲
店組合事務局である有
田観光協会に確認した
ところ、商品券に校正
不備が見つかり、販売
に遅れが生じた。町民
への周知も足りなかつ
た。今後は確認作業を
十分に行い、周知を徹
底するよう事務局に指
導した。

手塚委員 降雨が少ない
が水不足問題は。昨年
のような黒く変色する
恐れは。

上下水道課長 現在貯水
率は60%台に近い。こ
のままいくと1月20日
前後には節水をお願い
する状況である。県が
行った有田ダム水質調
査では、水の色は渡
り鳥が直接の原因では
ないと判断。夏場から
秋の高温、冬場の低温
の気温変化が原因と言
われており、今年も同
じことが起きる恐れが
ある。

文教厚生 常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

（委員会構成議員 4人）

委員長 松永 俊和
副委員長 梶原 貞則

▼有田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

浦川委員 こども誰でも

通園制度を現在利用している園及び人数は。子育て支援課長 令和7年度から全園で利用可能。うち現在2園で2名の利用である。

▼令和7年度有田町一般会計補正予算(第6号)

浦川委員 歴史と文化の森公園施設修繕費の説明。

生涯学習課長 記念堂のホワイエに設置している大型ボールスクリーンと、記念堂内のトイレの不具合の修繕である。

梶原委員 有田町学校給



▲こども園の給食の様子

食費補助金は増額補正しているが、保育園やこども園についての増額がないのはなぜか。

子育て支援課長 各園に所要額調査を行い、予算の範囲内で足りているためである。

梶原委員 給食費で賄えない場合は、各園で立替えるという制度では赤字を出してまで運営

できないため、補助金をもらうに至っていない。運用制度の見直しをしてはどうか。

子育て支援課長 過去の状況を改めて確認し、検証していきたい。

梶原委員 小中学校ICT機器活用事業備品修繕費の説明を。

学校教育課長 令和元年より導入した生徒用パソコンに係るもの。劣化・寿命もあり、バッテリー機能が低下しているため170台ほどの交換である。

松永委員 体育

センター施設管理事業の固定式エアコンの概要は。

生涯学習課長

一般的な対流式の室内機で、冷暖房環境を整備する計画である。

浦川委員 中学校再編について、問題点を

整理して毎月広報に掲載としてはどうか。

学校教育課長

住民に対し詳しく丁寧な説明を徹底していく。

ホームページはもとより、広報が一番の手段と考えている。別冊で折込も検討している。

浦川委員 ス

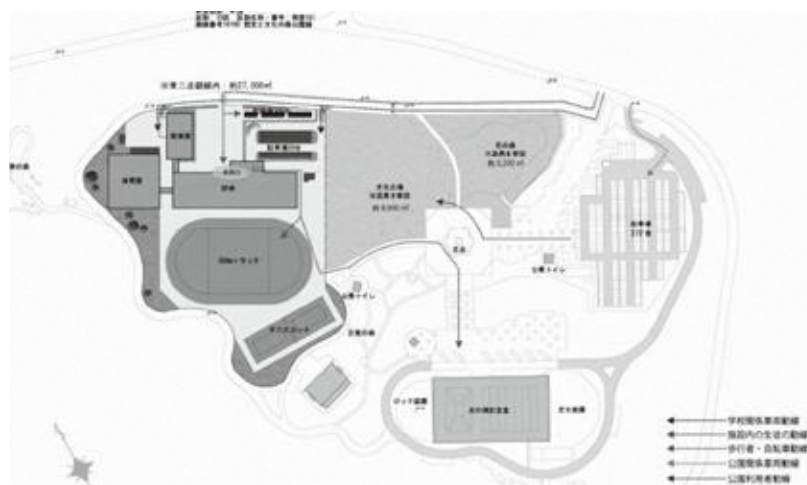
クールバス、登り坂、雨天時の送迎による混雑など、様々な問題点に関するQ&Aを載せて欲しい。

学校教育課長

現時点では公表しがたいところもある。これから詳細の検討に入っていく。

浦川委員

小学校の建設については、中学校再編と並行して行っていくのか。



▲統合中学校のイメージ図（今後、変更の可能性有り）

学校教育課長 老朽化が進む大山小学校、曲川小学校が早急な対応が必要。中学校再編がある程度軌道に乗った段階で、小学校も検討を進めなければならないと考えている。

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 中島 達郎

副委員長 蒲原多三男

▼有田町定住促進条例の一部を改正する条例

今泉委員 物価高騰の中、奨励金の増額を。

まちづくり課長 今回の改正内容以外は考えていない。

今泉委員 住宅用地購入費も対象にできないか。

まちづくり課長 住宅用地まで検討していない。

住宅取得方法にはいろいろなパターンが考えられ、それに応じた対応が必要となる。

原田委員 申請者が新築住宅に居住を開始した

日前2年以内に婚姻している場合、定額分と新婚世帯加算分との両方が受給できるのか。

まちづくり課長 新婚世帯の場合は、定額に10

万円の加算となる。

▼有田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

今泉委員 議員一人当たり5万円の増額を要望したが、1万6千円から2万円の増であった。

報酬審議会の協議内容及び意見は。

総務課長 町の財政が厳しい中、予算が増加するのはどうかという意見

	町名	報酬月額	適用年月
1	玄海町	290,000	平成29年10月
2	白石町	268,000	令和7年2月
2	有田町	268,000	令和8年4月
4	吉野ヶ里町	260,000	令和7年4月
5	基山町	256,800	令和5年4月
6	江北町	254,000	平成15年1月
7	みやき町	253,000	平成26年10月
8	太良町	249,000	令和7年1月
9	上峰町	246,000	平成19年4月
10	大町町	242,300	平成6年4月

▲議員報酬月額表(県内10町 単位:円)

見が過半数を占めた。議員定数を1人減とすることを考慮して、現議員定数16人の予算内での増額とし、実質6・2%増の改正案となった。委員は、商工、農業、陶磁器、NPQ、婦人会、区長会、労働組合、金融機関等の30代、70代で構成。改選期毎の審議会開催を望む意見も出た。

蒲原委員 予算の問題もあるが、議員のなり手不足で議会の状況はさらに厳しくなる。今後

も審議することが望ましいと考える。

▼令和7年度有田町一般会計補正予算(第6号)

○歳出 総務費

原田委員 防災備蓄品事業の廃棄物はどのようなものか。

総務課長 平成28年度に500ほど購入した土

嚢で、薬剤を含み水を吸うと膨らむタイプのものだが、経年劣化で水を吸っても膨らまなくなつたため、廃棄を行いたい。薬剤が含まれており、産業廃棄物扱いとなる。また、避難所の劣化したマット



▲内山地区と大公孫樹

を廃棄したい。

中島委員 総務省の事業である地域おこし協力

隊事業と文化庁の事業「本物の日本文化を体験する観光拠点整備事業(ACEプログラム)」は、今後連携して進めていくのか。

まちづくり課長 別事業のため関連はない。

中島委員 少ない人員の中で、協力していくことは難しいのか。

まちづくり課長 事業の内容が不明なので、今の段階では分からない。



まつお ふみのり
松尾 文則 議員

新中学校の開校は

答 令和13年4月を目指す

有田・西有田中学校の統合

議員 6月議会で承認された業務委託の基本構想と基本計画の策定はいつできるのか。

学校教育課長 令和8年5月くらいになる。

議員 建設用地と建設スケジュールは。

学校教育課長 現在、歴史と文化の森公園を候補地として基本計画を策定している。

令和8年度から9年度にかけて基本設計及び実施設計を行う。

工事は、令和9年度から造成工事に着手し、令和11年度から12年度にかけて学校本體工事及び外構工事を行う。令和13年4月開校を目指す。

大山・曲川小学校の将来ビジョン

議員 両小学校は建て替えの時期に来ている。それぞれ建設するのか。

学校教育課長 総合計画のデータでは2030年曲川小160人、大山小126人、2035年両校合わせて240人程で、現在の曲川小学校一校分の人数になる予定。

小中学校適正規模適正配置審議会から「小規模で老朽化が進んでいる学校がある。これらの小学校については統合して新設することが望ましい。」という答申が令和6年3月に出版されていることから再編（統合）に向けての検討が必要であると考えている。



▲改築が待たれる曲川小学校

◇その他の質問

- ・上下水道料金改定に向けた取り組みについて
- ・町道改良工事について
- ・町民スポーツ大会などの職員の協力体制について

詳しくはこの動画で



町政を徹底追求！

一般質問

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



なかしま たつろう
中島 達郎 議員

車椅子利用者等の使いやすい専用駐車場の設置を

答 利用者の視点に立ち、適切な維持管理を行う

インクルーシブ（包括的）対策

議員 歴史と文化の森公園内の多目的トイレを利用する際、車椅子等を利用する方が、段差がなく余裕がある駐車場があれば、インクルーシブ対策だと思うが。

生涯学習課長 年間を通して、子どもから高齢者まで幅広く公園を利用されていることから、利用者の視点に立ち適切な維持管理を行う。



▲歴史と文化の森公園内駐車場

カスタマーハラスメント（利用者の暴言等）への対応

議員 DX（デジタル技術）による、より良い生活環境のための変革の影響で、町の窓口対応に対して戸惑う高齢者等のトラブル対策に、年齢や気持ちも相違する定年退職職員の再雇用や専門スタッフの採用を。

総務課長 住民サービスの向上を目指し、事務手続きの簡略化や役場以外での手続きができるようにDXを導入しているが、従来の対応も継続しているため、高齢の方からのカスタムに該当する事例はない。本年10月には、職員研修として全職員を対象に接遇の向上研修も実施した。

定年退職したベテラン職員の活用については、定年延長や暫定再任用制度を活用しながら適材適所の配置を検討していきたい。



▲出典 映画制作配給委員会

「ら・かんぱねら」上映

議員 町での上映を。まちづくり課長 令和8年2月28日（土）の上映で準備している。

◇その他の質問

- ・交通標識の設置等

詳しくはこの動画で





池田 栄次 議員

中国・景德鎮市に

有田会館はできたのか

答

既存施設の整備で

一応「完成」と判断

「有田会館」の建設は

▽建設着手は「虚偽」

議員 旧有田町は景德鎮市と友好交流協定を締結し、「有田会館」建設を条件に2千万円の寄付を申し出ている。景德鎮市から建設着手の報告と残る1千万円を求められた町は「確認に向くも着手は虚偽だった。信頼を損なわれた。着手金の返還を求めた」と当時の新聞は報じている。有田会館の建設は。

商工観光課長 最終的には建設予定地が2度の洪水に見舞われ、物理的に建設が困難となったため、建設の代わりに既存建物を購入し、これを会館として整備する方向で調整がつい

た。建物購入費は先の着手金1千万円が充当された。

▽「建設確認」は誰が

議員 町のホームページに「建設確認」「完成を確認」とする訪中団の報告が3回もある。その前後にも訪中団が行き来している。誰が建設を確認したのか。



景德鎮とは

商工観光課長 残りの1千万円は「建設着手の確認後」が条件だった

たので、2度の訪中はその確認のためである。その後、建設から既存建物の購入に変更されたことで、平成16年10月に当時の町関係者11名が訪中し、有田会館の整備状況を確認して「会館は一応の完成」と判断された。

▽交流30周年事業は

議員 現下の国際情勢と寄付金も不透明だ。このような情勢下で30周年事業をやるのか。
商工観光課長 周年を祝うことは意義深いものだが、その時々国際情勢や政情なども考慮し、慎重に検討する必要がある。

詳しくはこの動画で



原田 一宏 議員

不登校の児童生徒への対応は

答

担任と学校職員が連携して状況に応じた支援を整備している

児童生徒の不登校

及び問題行動

議員 町内小中学校の不登校の状況は。

学校教育課長 昨年度小学校は15人、中学校は28人である。（左表参照）

議員 不登校の要因は。学校教育課長 不登校の要因は様々で、いくつもの要因が重なっている。

議員 児童生徒への対

		小学校	中学校	小・中学校計
県内	令和2年度	403	917	1,320
	令和3年度	549	1,091	1,640
	令和4年度	669	1,341	2,010
	令和5年度	785	1,395	2,180
	令和6年度	858	1,370	2,228
有田町	令和6年度	15	28	43
	令和7年10月末	11	29	40

▲佐賀県教育委員会資料より

応は。

教育長 担任と学校職員が連携して、児童生徒の状況に応じた支援を整備している。

議員 今後の課題と指導体制は。

教育長 支援の充実が課題で、子どもたちや家庭とのつながりを持ち続けることが一番の指導体制と考える。

議員 いじめの認知件数は。

学校教育課長 小学校4校で107件、中学校2校で77件認知している。

議員 不登校との因果関係は。

教育長 近年いじめによる不登校は確認されていない。しかし、いじめの芽を見逃さず、対処することが重要である。

有害鳥獣対策

議員 住民への直接被害はあるか。

農林課長 直接被害はない。

議員 ワイヤメッシュや電気柵の個人設置補助はあるか。

農林課長 個人設置補助はない。営農農家3戸以上のまとまった農地に対して補助がある。

議員 イノシシの棲み処となっている草が生い茂る耕作放棄地への対応は。

農林課長 農地パトロールを行い、かつ、役場での相談も受け付けている。

詳しくはこの動画で





もろくま ようすけ 諸隈 洋介 議員

中学校の統合改築計画の進捗と開校の時機は

答 令和13年4月を最短の目標として計画している

行政・地域経営の課題

議員 本町の教育環境維持と財政の持続性について伺う。中学校統合は令和13年4月開校を目標と聞くと、現状の人口動態と学校規模の急速な縮小を踏まえ、児童生徒にとつてより良い学習環境を早期に整備すべく、計画の前進しをすべき。また、小中学校適正規模適正配置審議会の内容が町民に十分周知されていないとの声もあり、審議内容の公開・説明の工夫が不可欠と考える。中学校統合計画の進捗、基本構想の策定状況、周知方法の改善策についての見解は。

令和13年4月開校を最短目標とし、基本構想・基本計画の策定を進めている。計画の前倒しの可否については地域の理解の度合いを総合的に見ながら慎重に検討する。審議会の内容の周知については、指摘のとおり改善の余地があるため、今後は広報誌、学校配布資料、町ホームページなど複数の媒体を活用し、町民が経過を把握しやすい形で公開を徹底していきたい。

教育長 統合による生徒の不安を軽減し、円滑な学校運営につなげるため、統合1、2年前から生徒交流を計画的に実施する。合同生徒総会、部活動交流、合同授業などを通じ、子ども同士の関係づく



▲新校舎候補地 歴史と文化の森公園

りを早期に整え、統合後の教育環境の安定化を図りたい。

◇その他の質問
・地域内連携の不足
・民間共創の体制づくり

詳しくはこの動画で



コミュニティバス再編



まつなが としかず 松永 俊和 議員

議員 コミュニティバスの利用状況は。

まちづくり課長 令和4年度が約2万6千人、令和5年度が約2万8千人、令和6年度が約2万3千人と減少傾向である。要因として利用者の高齢化と人口減少が考えられる。

議員 令和8年4月から大幅な見直しがあると聞く。内容の説明を。まちづくり課長 大き



西地区の利用者が東地区への買い物や通院ができるか

答 西地区から福祉保健センターまで利用が可能に。バスで乗り継ぎを

く変更したのは、利用頻度の少ない南北線の一部廃止（伊万里有田共立病院を含む旧西有田地区内、有田ポーセリンパークを含む戸杓地区内）である。代替策としてデマンドタクシーへ移行する。

また、一部南北存続路線として、マックスバリュ及びバイパス沿いの整形外科など集客施設のある経路に変更。また、バス運行数を増便し、利便性向上を図る。

議員 東地区のデマンドタクシーの変更と行先は。

まちづくり課長 対象者は境野、古木場、戸矢、大野、桑古場、戸杓、南山に在住していること、一時滞在でも良い。事前に利用者登録

録を行い、予約制の乗り合い運行である。福祉保健センター、生涯学習センター、まつばや、口石整形外科、高原医院、マックスバリュ、松尾内科、馬渡クリニックの8箇所へ利用できる。

議員 西地区のデマンドタクシー利用者から、東地区への買い物や通院が難しいと聞くと、その対応は。

まちづくり課長 今回の変更で、大山・曲川地区デマンドタクシーの行先に福祉保健センターを追加する。別料金にはなるが、コミュニティバスを利用すれば買い物や通院など可能になる。

詳しくはこの動画で



い わ お ただし
岩 尾 匡 議員

町の窯業・農業への

支援取り組みは

答

自助努力と公的資金による
支援が不可欠

窯業・農業への取り組み

議員 令和4年からの
窯業への取り組みは。

商工観光課長 未来へ

つなぐ有田焼支援事業では、事業者の創意工夫や挑戦を後押しし、窯業機械や設備の長寿命化、後継者雇用育成、研究調査の支援、お土産品開発支援などで、販路開拓や展示会・商談会への出店支援を行っている。物価高騰など厳しい状況の中、自助努力が不可欠であるが、必要な支援は継続していきたい。

議員 農地プランなど
農業への取り組みは。

農林課長 人と農地の問題解決に向けたプランが、法制化により地域計画へと移行した。

認定農業者に加え兼業

農家も幅広い農業者として位置づけられ、地

域の営農課題解決方針

など話し合い活動に基

づき策定、将来の地域

営農ビジョンとして活

用するもの。町として

はアドバイスをしながら

今後継続した話し合

い活動を支援する。営

農継続のためには集落

営農組織強化が必要で、

機械の共同導入を支援

し、オペレーターや後

継者育成を掲げて取り

組む。

有田町地域計画の実

現において、ゾーニン

グされた地域圏場と担

い手の維持に向け、今

後は非農家も交えて地

域ぐるみで環境整備を

していく必要がある。

議員 稼げる農業への
取り組みは。

農林課長 さが園芸8

88運動に参画し、伊

万里有田管内の園芸課

題解決に向けた取り組

みを行っている。主な

支援策として令和元年

からきゅうり等の省石

油対応ハウスや後付け

として環境制御技術導

入を行った。成果とし

て、きゅうりのJA伊

万里管内販売額前年比

110%の8億160

0万円、アスパラガス

の新規就農者による1

0アールあたり販売金

額最優秀賞受賞などが

ある。

詳しくは
この動画で

人口減少対策

議員 過去10年間の人

口減少数は。

住民環境課長 令和7

年4月1日の人口は、

1万8398人で23

97人の減となってい

る。

議員 10年後の予想人

口は。

まちづくり課長 20

35年の予想人口は約

1万5500人と推計

される。

議員 今後の人口減少

対策は。

まちづくり課長 人口

減少と少子高齢化に歯

止めをかけ、活力ある

地域社会を実現するた

めに、第2期まち・ひ

と・しごと創生総合戦

略に基づき、多岐にわ

たる具体的な施策を実

く ぼ た ゆたか
久 保 田 豊 議員

人口減少対策は

答

子育て支援の充実と移住定住の
促進である

施している。

特に力を入れている

のは、子育て支援の充

実と移住定住の促進で

ある。

2027年問題の対策

議員 LED化による

蛍光灯製造終了の告知

は。

住民環境課長 今後も

町のホームページ・広

報にて継続して周知を

行っていく。

国勢調査

議員 国勢調査の目的

は。

まちづくり課長 日本

国内に住んでいる全て

の人と世帯の実態を把

握し、各種行政施策そ

の他の基礎資料を得る

ことを目的としている。

詳しくは
この動画で

一般照明用の蛍光灯は
2027年末までに製造・輸出入禁止
になります

本県に関する条例の改正案が決定されました。一般照明用の蛍光灯について、
その数量に応じて段階的に製造・輸出入を禁止することを決定いたしました。
蛍光灯の製造・輸出入の禁止は下記の通りです。

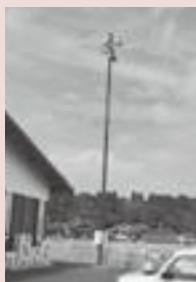
品目	2026年1月1日	2027年1月1日	2028年1月1日	2029年1月1日
電球型蛍光灯	禁止	禁止	禁止	禁止
管型蛍光灯	禁止	禁止	禁止	禁止
直管型蛍光灯	禁止	禁止	禁止	禁止
省エネ型蛍光灯	禁止	禁止	禁止	禁止

※ 照明器具の規格はJIS規格に準拠しています。2027年1月1日よりJIS規格に準拠した製品のみが製造・輸出入が認められます。

■ 蛍光灯からLED照明への計画的な変更を
お願いいたします。
■ 蛍光灯の製造・輸出入は禁止されませんが、
使用・販売・購入は禁止されません。
■ 廃棄の際は、自治体のルールに合った分別・排出や
廃棄物処理などの関係法令に合った適正な処理を
お願いいたします。

環境省
Ministry of the Environment

詳細は、環境省のホームページをご覧ください。
環境省 蛍光灯 禁止



▲防災無線

議員 近年の温暖化の影響と思われる大雨や大規模火災発生時の情報伝達手段として、防災無線は重要である。断熱化住宅の普及により、音声による伝達

防災無線の経費削減手段は



ひわたし とおる 樋渡 徹 議員

防災無線の経費削減手段は

答 大災害時の情報伝達手段に必須であり、代替は難しい

が難しくなっている状況である。10年単位で高額な経費が必要な設備を戸別受信機へ切り替えるのも一つの案と思うがどうか。

総務課長 戸別受信機は、機器の近くにいないと音声が届かないため、防災無線の補完的な役割と考えている。

防災無線は大規模停電時には72時間、情報の伝達が可能である。

議員 防災Webに提示される気象観測装置の町民への周知について。

総務課長 役場庁舎に設置している雨量・風量計の情報を、町のホームページの防災サイトで閲覧が可能である。



防災サイト

詳しくはこの動画で



有田町役場(詳細)

平均風向	南南西
平均風速	0.3 m/s
10分間最大瞬間風速	1.7 m/s
10分間雨量	0.5 mm
1時間移動雨量	0.5 mm
累計雨量	10.5 mm

議員 地域密着型・市民参加型・災害時の役割などの特徴があるコミュニティFMを開設する考えは。

総務課長 停電時や通信障害時でも情報収集が可能ならラジオは重要であり、導入の検討は行ったが、平常時の運用が課題で断念した。開設費用、経営面、運用面、人員面、聴取率等で課題が多く、困難と考えている。昨今は、情報伝達手段も多様化している状況である。



てつが ひでき 手塚 英樹 議員

「世界の文化創造拠点ARTAプロジェクト」のコンセプトは

答 町全体を陶磁文化が肌で感じられる「生きたミュージアム」化である

文化庁が実施した「本物の日本文化を体験する観光拠点整備事業（ACEプログラム）」

議員 今年度より5カ年計画総事業費12億円規模で「佐賀の焼き物」を観光拠点に、町を中心に取り組むようだ。県の事業ではあるが、内容の説明を。

商工観光課長 佐賀の本物を活かした焼き物文化で、外国人観光客を中心に、町をはじめ陶磁器産地を対象に事業を計画。「世界の文化創造拠点ARTAプロジェクト」のコンセプトは町全体を陶磁器文化が肌で感じられる、また世界の感性豊かな人々を惹きつける生きたミュージアム化である。県は九州陶磁文化館のリニューアル



やインバウンド誘致に動き出している。町は多言語ガイドの育成やデジタルガイドの導入、デジタル予約体制を県と協議している。

議員 文化庁の支援内容はハード面も取り組めるようだが。

商工観光課長 博物館等のガイダンスコーナー整備、伝建物を飲食店や宿泊施設としての



▲改築予定古民家

議員 進捗状況は。まちづくり課長 運営の精査に時間が掛かっている。

有田町歴まち再生
ファンド事業

改修等が考えられる。

◇その他の質問
・佐賀銀行有田支店跡地再開発事業について

詳しくはこの動画で





蒲原 多三男 議員

高齢化へ向けての窓口

手続きの簡易化を

答

マイナンバーカードの利用と、窓口対応の簡素化につとめる

水道事業の負担

議員 水道管の点検や管理、補修はどのようにしているか。

上下水道課長 点検はイヤホン等により音調にて実施し、平時は委託業者に依頼、漏水時は職員が実施している。また、管理は管理システムを運用している。

議員 人口減少により水道の利用人口も減る中で、設備の維持費は増えていき、水道料金の上昇にはならないか。

上下水道課長 利用者は、令和元年から6年間で1247人の減。原水単価はここ1、2年かなり上昇している。令和10年には値上げを検討したい。



窓口手続きの簡素化

議員 マイナンバーカードの町内保有枚数と保有枚数率、またコンビニ二交付利用率はどうか。

住民環境課長 10月末現在の保有枚数は1万5753枚、保有枚数率は85%である。令和6年度のコンビニ二交付利用率は23・4%である。

議員 マイナ保険証としての利用率は。

健康福祉課長 国保では10月の利用率は約62%である。

議員 今後の更なる高齢化へ向けた書類申請などの取り組みを、マイナンバーカード利用と合わせて窓口手続きを簡素化し、町民の負担・事務負担の軽減を。

住民環境課長 業務の見直しや、デジタル化は必要である。一方、窓口の対応対応も大事。高齢者を含む全体の利便性向上のためにも、できない窓口を検討していきたい。

詳しくはこの動画で



梶原 貞則 議員

探求学習の導入による学校教育を

答

できる範疇でやっていきたい

を町でも取り入れてはどうか。

教育長 「きのくに子どもの村学園」は、文部科学省に認可された私立学校で、公立学校のカリキュラムには縛られない教育ができる。また、学費が高い分、探求学習ができるものと考えられる。

議員 この学園は、現在全国に5校あり、6年前に「東彼杵きのく

に子どもの村学園」も開校している。全国から移住して来た家族も約70人もいるとのこと。AIやロボットが進む現在、必要とされるのは、自分で考え創造し、課題を解決していく人である。また、東京都渋谷区では、すべての区立小中学校で、午後の授業はすべて「探求学習」が行われている。町でもこのような探求学習を行い、次代を担う人づくりをお願いする。

教育長 有田の学校でできる範疇でやっていきたい。

▲プロジェクトの様子



詳しくはこの動画で



◆産業建設常任委員会行政視察

熊本県南小国町・天草市・長崎県島原市

黒川温泉では、事業継承の実情と泊・食分離の取り組みについて視察を行った。

人手不足対策として、従業員寮の個室整備、インターンシップの職場体験、黒川塾でリーダーを目指す研修プログラムに取り組んでいた。

場所：黒川温泉



場所：陶石現場



焼物産地として陶石値上げは死活問題である。値上げの連鎖を止める方法を、上田陶石さんとの話し合いの中で見つけたいとの思いでの視察であった。現場を案内され急峻現場での陶石と土砂の選別、その後の陶石を等級別選別作業を見せて頂いた。問題点は①人材の確保②山の造成許認可申請が厳しく、費用も増えてきたことであった。

アーケード内にある築170年の旧綿問屋の古民家再生の視察を行った。

風格のある外観はそのままに、ホテル機能（客室2屋）、コワーキングスペース、カフェ、設計事務所など多機能な部屋が整備されていた。

場所：水脈（MIO）



= まとめ =

黒川温泉は平日にもかかわらず宿は満室の大盛況で、中興の祖、後藤哲也氏の哲学が隅々まで行き届いている印象であった。

株式会社上田陶石さんへの人材派遣等の検討を考えさせられた。

水脈（Mio）の古民家再生は今後の有田の参考になった。

産業建設常任委員会

委員長 手塚 英樹

副委員長 諸隈 洋介

委員 樋渡 徹

委員 岩尾 匡

委員 松尾 文則

有田町議会と北海道釧路町議会との友好交流協定締結式

去る令和7年12月18日に、当議会から正副議長、各常任委員長と議会事務局長が出席し、釧路郡釧路町役場3階の議場において、今泉議長と橋口釧路町議会議長により両町議会の今後の友好と交流を記念して、協定書への署名と調印が行われた。

「友好交流協定書」

『明治3年(1807)5月、佐賀藩の諭達(*1)により佐野孫右衛門(*2)が、84戸285人の漁民を釧路町の旧昆布森(こんぷもり)村、旧仙鳳趾(せんぼうし)村に移住させるなど、古くから佐賀地方と釧路地方は密接なつながりをもっていた。このような歴史的背景を縁として、有田町議会と釧路町議会の交流が末永く続けられるよう、友好交流協定を締結する。両議会は、議会活動のみならず、教育、文化、観光等の多様な分野において、積極的に情報交換を行い、両町の地域活性化に寄与するため、相互の交流をより一層推進するものとする。』

令和7年12月18日 有田町議会議長 今泉 藤一郎 釧路町議会議長 橋口 春樹

*1 諭達(ゆたつ)：指図や命令を下すこと *2 佐野孫右衛門：新潟出身で昆布漁の漁場請負人

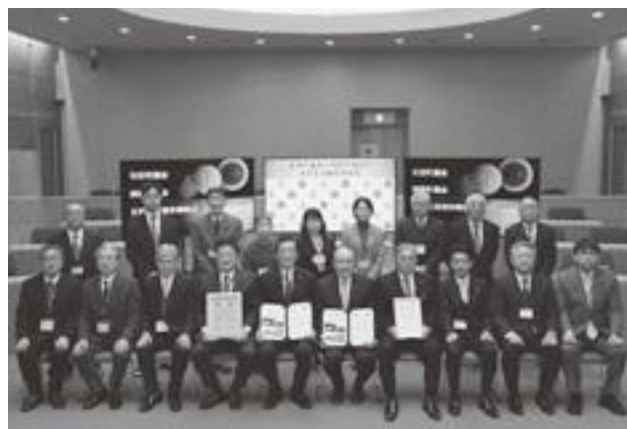
橋口釧路町議長：14日から15日にかけての大雪(積雪25cm)の中、この日が迎えられるかとても心配だったが、昨日、本日18日と雲一つない好天に恵まれ、素晴らしい締結式を迎えることができた。これから有田町と釧路町が、しっかりと議会の活性化、議員相互の情報交流、地域に住んでいる両町民のためにどのような議会活動を行えば互いの町民の生活が良くなるかということなど、相互の理解のもとで情報交換できればよいと思うている。

今泉議長：今月2日には有田町長の不祥事に対して当町議会は問責決議を発議し、全国ニュースとなり、このような事態の中、協定締結式が開催されるのかとても不安だった。そんな中、橋口議長より「議会は議会、予定通りに締結式を行いましょう」と温かい言葉をかけてもらった。今後は、情報交換や人的交流等を通して釧路町の素晴らしさをもっと知り、互いの強みを活かし協力関係をさらに深めていきたい。

小松釧路町長：道東でも一大昆布生産地である当町の昆布が北前船経由で佐賀藩やその従兄弟に当たる薩摩藩にも運ばれていた事実も、当町の歴史にとって大変意味深いものがある。また今回の協定は議会間における町の様々な課題等の議論や協力が主体であるが、町民同士、特に子どもたちの交流等、様々な面に目を向けてもらえれば幸甚である。



▲日本一の夕日(雪の釧路湿原細岡展望台から)



▲両町議員(釧路町議場にて)

●釧路町は、北海道東部の釧路地方に位置し、昭和50年代から隣接する釧路市のベッドタウンとして栄え、郊外型大規模店等の進出が相次ぎ、現在では釧路市中心部を超える一大商業地を形成している。ちなみに釧路町議会議長の橋口春樹氏は武雄市出身県立有田工業高等学校の卒業生である。

◆発議第 3 号 有田町議会議員定数条例の一部改正する条例について

有田町の将来を見据え、議員定数の在り方について議員定数等調査特別委員会を設置し、調査研究を行った結果、全議員による審議を経て、議員定数を 1 人削減することが適当であるとの結論に至った。

これに伴い、現行条例の一部を改正した。

(賛成全員で可決)

◆発議第 4 号 松尾佳昭町長に対する問責決議について

本町議会は、町長の出張先での酩酊及びセクハラ事案の対応について、町民から強い不信と懸念の声が寄せられている状況を重く受け止めている。

町長は、地方自治法に基づき、町政を預かる最高責任者として、常に高い倫理観と説明責任をもって職務を遂行すべき立場にある。しかしながら、これまでの言動及び対応は、町民の信頼を著しく損なうものであり、町政の停滞と混乱を招いていると言わざるを得ない。よって、本町議会は、町長に対し、町長としての資質を強く問い、ここに問責するものである。



▲蒲原議会運営委員長

(賛成全員で可決)

◆発議第 5 号 有田町議会委員会条例の一部を改正する条例について

有田町議会議員定数条例の一部を改正する条例を可決し、議員定数が 16 人から 15 人と 1 人減となったことから、委員会条例の一部を改正した。

(賛成全員で可決)

◆松尾佳昭町長の職務遂行に関する要請（令和 8 年 1 月 6 日）

本町議会は松尾佳昭町長への問責決議を踏まえ、職務遂行に関する要請を行いました。議会は、特別職である町長には高い倫理性が求められるとし、対外的な代表行為や重要な政策判断を厳に慎むよう要求。今後の町政は副町長中心の運営を求め、報酬不支給等の措置だけでは責任を果たせないと指摘した。議会は問責決議の軽視を許さず、今後の言動を厳正に注視し、必要に応じて対応する所存である。



▲令和7年10月15日（水）議員控室にて

秋田県能代市議会から行政視察

秋田県能代市議会より 3 名様が視察に来られた。視察内容は「有田町歴まち再生ファンド事業」について。町まちづくり課担当者より事業概要、事業に至った経緯、今後の展望や課題等について説明があった。質疑では、内山地区のまちづくりの取り組みや内山ランドデザインなどに関する様々な質問があり、大変有意義な視察となられたようだ。

岡山県瀬戸内市議会から行政視察

岡山県瀬戸内市議会より 7 名様が視察に来られた。視察内容は「剪定枝・草類処理施設（有田町リサイクルプラザ）」について。町住民環境課担当者より剪定枝・草類の分別方法などについて説明を行い、その後の現地見学では、処理過程などを熱心に質問されていた。瀬戸内市でも資源循環型のまちづくりに関する取り組みが課題となっており、参考になるところが多かったと感想をいただいた。



▲令和7年10月29日（水）議員控室にて



▲令和7年11月12日（水）議員控室にて

北海道七飯町議会から行政視察

北海道七飯町議会より 9 名様が視察に来られた。視察内容は「有田町リサイクルプラザ」について。町住民環境課担当者よりリサイクルプラザの概要や剪定枝・草類処理施設について説明があった。質疑後、処理施設や展示棟を見学され、リサイクル品の有効活用について、今後の活動に十分活かしていきたいと話された。

任期を終えて

議席	氏 名	コ メ ン ト
1	浦川 和彦	町を深く知らなかったと痛感。会話し動く中で、初めて見える地域の真実と重みを学ばされた議員生活。ありがとうございました。
2	岩尾 匡	瞬く間の4年間、要領を得ない発言や一般質問など多くの反省もある中、皆様に多くのご指導とご支援をいただき感謝申し上げます。
3	久保田 豊	議員として皆様から温かいご支援ご意見に感謝いたします。まだ多くの課題が残りますが、今後とも引き続きお力をお貸しください。
4	諸隈 洋介	振り返ると、全力を尽くしたとはいえ、悔いがないとは言え嘘になります。ただ、「是々非々」の姿勢は貫き通してきたつもりです。
5	中島 達郎	今期は主に広報委員会の議員達と町の条例や規則、適材適所な財政の運営費等を勉強し、一般質問等の際に取り上げることができた。町民の皆様や町職員方に感謝。
6	樋渡 徹	高齢化による農地荒廃化や空き家増加、少子化による学校のクラス減少、まち・ひと・しごと創生の定住促進、企業誘致を最優先に取り組むべき時期と思う。
7	手塚 英樹	ありた de お得クーポン、有田っ子出産・子育て応援二コツと給付金、議員定数削減、議員報酬改定ができ、町長への問責決議は町史に残ることになる。
8	福島日人士	皆様のご協力により、12年間の議員活動ができたことを感謝申し上げます。今後は、一町民として町の発展を見守ります。
9	原田 一宏	今期も町民の皆様方の声に耳を傾け、町や町民の為に真摯に対応・活動させていただきました。ご協力頂いた皆様方に感謝申し上げます。
10	松永 俊和	人々が互いに尊重し合い、協調することを大事に考えて参りました。4期16年、町民の皆さまと議員各位のご指導とご協力に対してお礼を申し上げます。
11	蒲原多三男	実に様々なことがあったという実感です。議員の役割を果たすのが、自身の戦いでした。町長・各課長の皆さん、職員の方々に感謝しありません。
12	池田 榮次	86歳で5期目の挑戦。多くのご支援で任務を果たせた。町幹部の不祥事は憤慨に堪えず。藤誠一郎議員の急逝が悲しかった。
13	梶原 貞則	議員6期目、特に危機的な少子化問題に取り組みました。今後も“明るい心豊かな町創り”のため、努力、精進の覚悟です。
15	松尾 文則	23年の議員活動で今季初めて産業建設常任委員会に所属しました。戸矢地区最終処分場問題、剪定枝・草類処理施設建設等とても勉強になりました。

一般質問回数

一般質問は、議員にとって意義のある発言の場で、議員が町政について自由に質問することを言います。質問する項目は事前に通告し、時間内であれば何度も質問できる「一問一答」を採用しています。

(令和4年6月議会から令和7年12月議会までに、15回の定例会が開催されています。また、藤議員の任期は令和4年4月16日から令和7年7月26日までとなっています。)

	浦川 和彦	岩尾 匡	久保田 豊	諸隈 洋介	中島 達郎	樋渡 徹	手塚 英樹	福島日人士	原田 一宏	松永 俊和	蒲原多三男	池田 榮次	梶原 貞則	藤誠一郎	松尾 文則	今泉藤一郎
R4	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	2	2	3	—
R5	4	4	4	4	4	4	4	2	4	3	4	4	2	1	3	—
R6	4	4	4	4	4	4	4	2	4	3	2	4	2	2	2	—
R7	3	4	4	4	4	4	4	1	4	3	3	4	3	1	3	—
計	14	15	15	15	15	15	15	7	15	12	12	15	9	6	11	—



議長就任以来の4年間、総務・文厚・産建の各委員会を中心に勉強会を重ね、地場産業振興や子育て、医療・福祉等の課題解決に向け、議員一同切磋琢磨してまいりました。町政発展のため、常に「凛とした議会」を目指し議論を尽くしてきましたつもりです。

しかし、昨年12月2日の報道を受け、町内外の皆様にも多大なるご不満やご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。二元代表制の一翼を担う議会として下した判断につきましては、賛否両論あるかと存じますが、何卒その真意にご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

議長 今泉 藤一郎

◆議長交際費支出状況（令和7年10月～12月）

項 目	件 数	支出額（円）	備 考
会 費	3	22,000	行政懇親会会費ほか2件
雑 費	3	17,620	東京有田会総会・懇親会記念品代ほか2件
合 計	6	39,620	

有田町議会
HPはこちら



◆有田町議会議員

議会だよりも最終号となりました。今年3月議会で任期4年をもって有田町議会議員としての務めを終えることとなります。これまで町民の皆さまから賜りました温かいご支援とご指導に、心より感謝申し上げます。

在任中は、人口減少や財政の持続可能性、公共施設の在り方、地域産業の将来など、多くの課題に向き合ってきました。議会では、町民の声を行政に届け、将来世代に責任ある判断を行うことを常に意識して活動してまいりました。

至らぬ点もあつたかと存じますが、支えてくださった皆さまに深く御礼申し上げます。有田町が誇る歴史と文化を礎に、今後も持続可能な町として歩み続けることを心より願ひ、感謝の言葉といたします。議員一同

あ
と
が
き

いつも議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。

本誌は、6人の広報委員と事務局の協力により作成しています。議会での話し合いや決定事項などを、できるだけ分かりやすくお伝えしたいとの思いで編集を心がけています。今後とも、皆様のご意見やご要望が議会活動の励みとなります。これからも、身近で信頼される議会を目指してまいります。

豊



◆議会広報発行特別委員会委員

議会広報発行特別委員

委員長 諸隈 洋介
副委員長 樋渡 徹
委員 浦川 和彦
委員 岩尾 匡
委員 久保田 豊
委員 中島 達郎